



道づくりは 国づくり

関西国際空港の開港、世界リゾート博の開催が近づきつつある今、和歌山県の飛躍発展に欠かせないのが道路などの交通基盤整備です。

人、物、情報の迅速な移動、それに伴う商工業の活発化や観光客の増加、企業誘致の進展など一本の道路が我々に与える恩恵は計り知れません。

現在、県内各地で道路整備が進められ、主要幹線道路や農道、林道などの充実をはかっています。

また、近畿自動車道紀勢線の堺、岸和田和泉間が平成五年度中に開通が見込まれ、さらにこの道は関西国際空港へもつながっていきます。

県内から国内へ、海外へと延びる道路網づくり。二十一世紀に向け、着々と進んでいます。

(二～三面で、県内各地で進む道づくりを特集します)

建設が進む近畿自動車道紀勢線、唐国高架橋(大阪府和泉市)



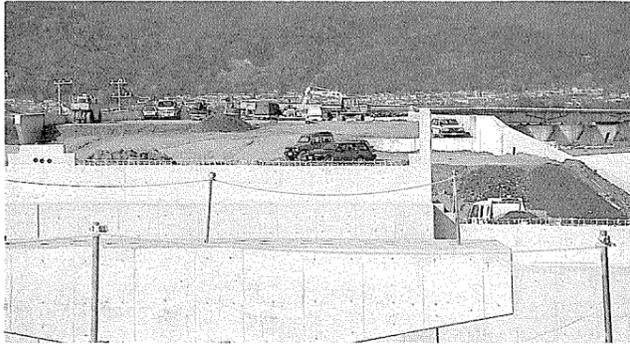
進む道路整備

より安全に、より速く目的地に着くように、
県内各地で道路整備が行われています。

県土軸の整備充実

平成五年度中には大阪側が全面開通となる近畿自動車道紀勢線。それに直結する道路の整備なども進んでいます。

1 国道24号 和歌山バイパス



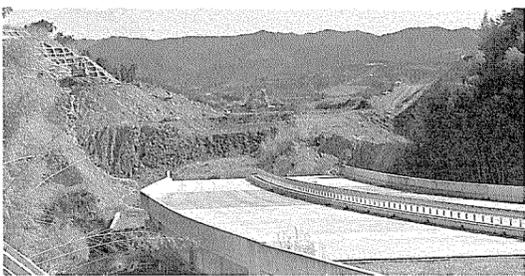
交通混雑を解消するため、岩出町と和歌山市間の十・三峠で整備が進められ、現在、和歌山市川辺と田屋間が通行可能となっています。紀州大橋を含む残りの区間も平成五年中には開通の予定。

2 国道42号 湯浅御坊道路



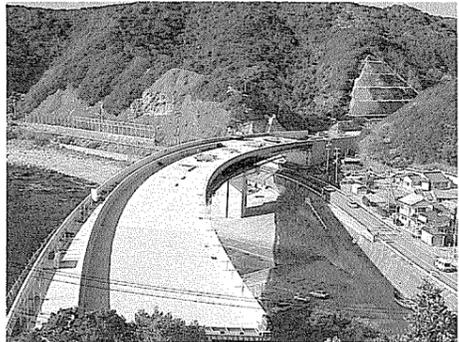
現在供用中の海南湯浅道路の両伸として、吉備町から御坊市までの十・四峠を結ぶ自動車専用有料道路で、現在全区間で工事が行われています。

3 国道42号 田辺バイパス



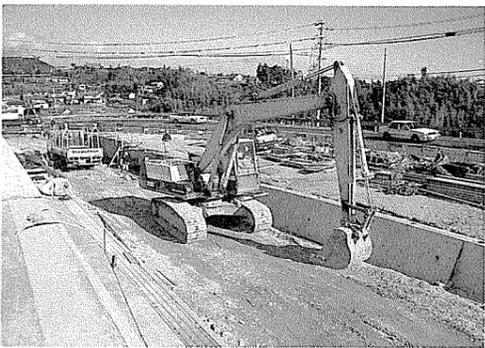
田辺市稲成町と上富田町間で、田辺市内の渋滞緩和のため六・九峠のバイパス整備が進んでいます。

4 日置川道路



平成五年度中には田辺市稲成町と秋津町間が通行可能となる予定。

5 広角道路



新宮市内の交通混雑解消のための新宮市三輪崎と橋本の四車線道路。平成五年度には通行可能となります。

同和連載

この連載は、県同和委員会が毎年募集する同和運動啓発作文の入選作品を掲載しています。
子供たちがそれぞれの生活の中で素直な目で見つけた「人権」へのまなざし。
私たち大人への呼びかけです。

「差別について」

新宮市 近畿大学附属新宮高校 二年 青木ゆか

人間である以上、当然のこととして保障されなければならない自由・平等——
差別について考える機会が数多くあります。そして、そのたびに当然のこととして保障されるべきものなのだから、考える必要などないのではなかるうか、と思います。そこで矛盾を感じるのです。当然のことが当然となっていない世の中の矛盾を、人権を侵して成立している社会に気づき、悲しくなるのです。また、差別について考えるたびに、自分は頭の中で立派なことばかり言っているけれど、障害を持っている人達や、人権を侵されている人達に対して、真剣に考えているのか、自分の考えていることを行動に移しているのか、と思うのです。口先だけの自分を情けなく感じるのです。何も考えないよりはましかも知れない。けれど考えるだけでは限界がある。いくら想像力を働かせても、障害を持つ人達や人権を侵されている人達の悲しみ、苦しみがきつとわからない。体験しなければ、体で自分自身が感じなければわからない、と思うのです。

最近、「障害者と市民の集い」というものに参加させて頂きました。その中で、健常な人達に車椅子を体験してもらおう「車椅子体験コーナー」というのがあり、その助手という形で車椅子に接する機会を得ました。事前に講習会があり、車椅子を實際に押したり、座ったりしました。そして、車椅子の本当のつらさ、大変さは、想像を絶するものだということに気がきました。自分が実際、車椅子を体で感じることで、見事に私の想像は砕け散ったのです。自分が普段、平気で舗装されている

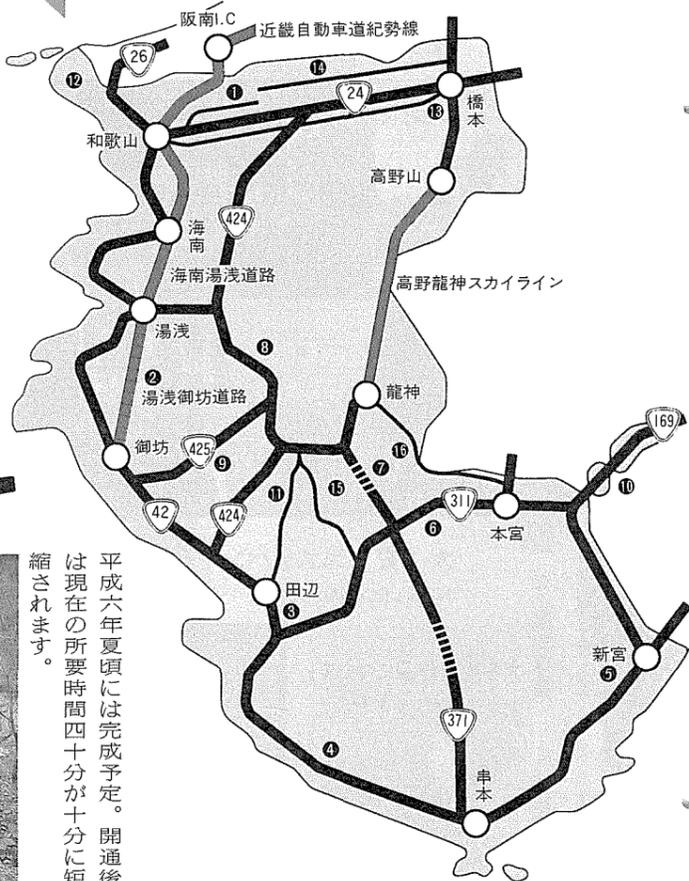
歩み出して、たくさんの人々と接し、もっともっと知るべきことがあります。個人個人が体験しようとして、理解しようとする必要が差別について考えるに当たって必要なのです。そして体で感じとり、知ることが出来れば、そこに初めて平等が生まれるのではないのでしょうか。その上で現代社会の矛盾というものも消えるのではないのでしょうか。考える以上の体で感じることが今の私達に最も必要なことなのです。

歩み出して、たくさんの人々と接し、もっともっと知るべきことがあります。個人個人が体験しようとして、理解しようとする必要が差別について考えるに当たって必要なのです。そして体で感じとり、知ることが出来れば、そこに初めて平等が生まれるのではないのでしょうか。その上で現代社会の矛盾というものも消えるのではないのでしょうか。考える以上の体で感じることが今の私達に最も必要なことなのです。

各地で

山間部の幹線道路整備

県土の大部分を占める山間部の幹線道路を整備し、地域の振興を進めていきます。



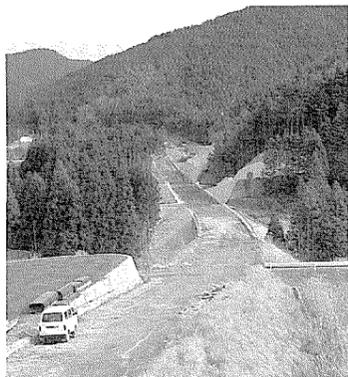
平成六年夏頃には完成予定。開通後は現在の所要時間四十分が十分に短縮されます。

6 国道311号

紀南地方を横断する国道311号は、住民の生活道路として、熊野古道などの観光道路として重要な幹線道路です。本宮トンネル、稲葉根トンネルなど、現在五つの区間にわたって整備を進めています。

7 国道371号

龍神村と中辺路町間で途切れている国道371号の整備が進み、平成五年



8 国道424号

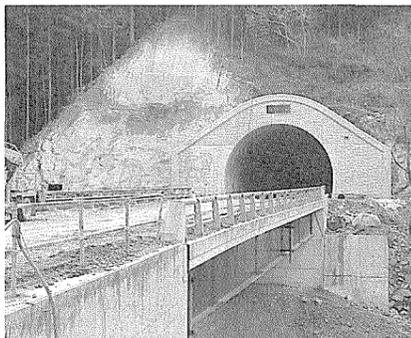
打田町から南部町まで、山間部を南北縦貫している国道424号。急勾配で幅の狭い金屋町字井ノ美山村弥谷区間に全長約一・九キロの白馬トンネルが昨年七月に貫通しています。



度には小松原九号橋などが完成予定。また古座川町の一枚岩付近でも洞尾トンネルなどの整備が進んでいます。

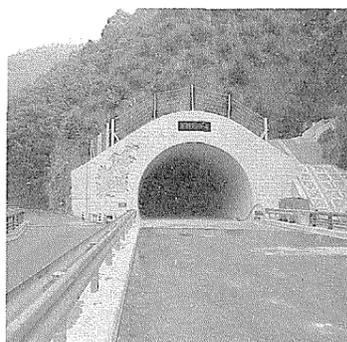
9 国道425号

御坊市と龍神村を結ぶ国道425号。カーブの多い印南町山間部では拡幅工事を進めています。平成五年中には宝ノ木橋が完成予定。



10 国道169号 奥静道路

北山村と熊野川町、四・二キロを静峡に沿って建設中の奥静道路。三つのトンネルと八つの橋が結びます。完成すれば、通行不能区間が解消され、大幅な時間短縮となり、生活利便に、観光に大きな力を発揮します。



11 県道田辺十津川線

田辺市と龍神村を結び、高野龍神スカイライン関連道路として整備が進む田辺十津川線。田辺市大沢と南部川村名之内、龍神村柳瀬で工事が進められ、平成五年中には、柳瀬トンネル、柳瀬一号橋が完成予定。両工区の一部は通行可能となります。



12 県道岬加太港線

和歌山市加太と大阪府岬町を結ぶ県道岬加太港線。関西国際空港開港にあわせて整備を進めています。カーブの多い難所もこれにより通行時間は三分の一に短縮、府県間道路として期待されています。



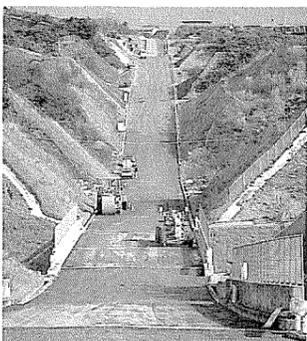
13 県道和歌山橋本線 (学文路バイパス)

県道と和歌山橋本線の橋本市学文路

農道・林道の整備

農産物の生産や出荷、植林、育林、伐採など農業や林業の効率化にも道路は大きな役割を果たします。

14 広域農道 紀ノ川地区



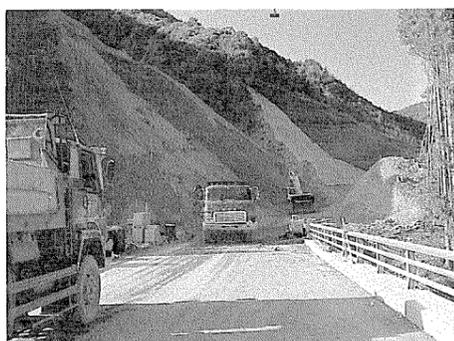
橋本市から岩出町まで、一市六町を結ぶ延長三十三・六キロ、幅員八メートルの広域基幹農道。今年春には全線開通の見込みです。これにより、京阪神への迅速な農産物の輸送や大型機械の導入、生産物、諸資材の搬出入など効率化がはかられます。また都市部へのアクセス道路としても機能します。

16 林道龍神本宮線

果無山脈のふもとから尾根を走り、中辺路町と本宮町を結ぶ林道龍神本宮線。林業の活性化のほか、森林での観光振興をはかります。現在舗装工事が進められています。



15 林道水上栃谷線



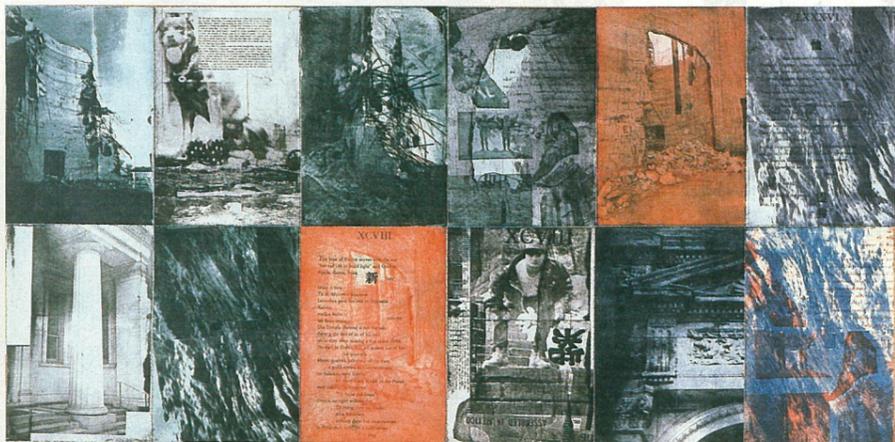
土地を提供していただいたり、家屋の移転をお願いしたり、道路づくりには県民の皆さんのご協力がぜひとも必要です。豊かな道路網整備、地域づくりのため、今後とも皆さんのご理解とご協力をお願いします。

付近は道幅が狭く通行に不便な区間となっています。それを解消するため、バイパスづくりを進めています。また、この区間は四月から国道370号に昇格します。

THE 5TH BIENNIAL EXHIBITION OF PRINTS IN WAKAYAMA

国内外から3,157点の応募

第5回和歌山版画ビエンナーレ展開催



一九八五年の第一回開催から今回で五回目を迎えた、「和歌山版画ビエンナーレ展」は、国際的美術展として評価の高いこの版画展は、日本国内で公募形式で行われる版画展としては代表的なもので、今回も国内外から一〇人、三、一五七点(うち海外六三の国や地域から八七一人、二、六一三点)の表現力豊かな作品が寄せられました。

審査は、一月十五日に大阪市内で、スタイングリム・ロースン(デンマーク、ルイシアナ美術館館長)、李慶成(前韓国国立現代美術館館長、草月美術館名誉館長)、乾由明(京都大学名誉教授、美術評論家)、堤清二(セゾン・コーポレーション代表、詩人)、藤田慎一郎(大原美術館館長)、三木哲夫(県立近代美術館学芸員)の六氏によって行われ、大賞にはアメリカ・ニューヨーク在住のエステバン・チャヴェスさんの作品で、エイズ・キルトをモチーフとして環境問題を扱った銅版画「エイズ理解のためのキルトによる習作」が選ばれました。

このほか、優秀賞二点、買上賞十一点、入選七一点が選出され、地元、和歌山県からも、田口幸加子さん(和歌山市)の石版画「海流の中の安楽—II—サンゴのありか」と山崎

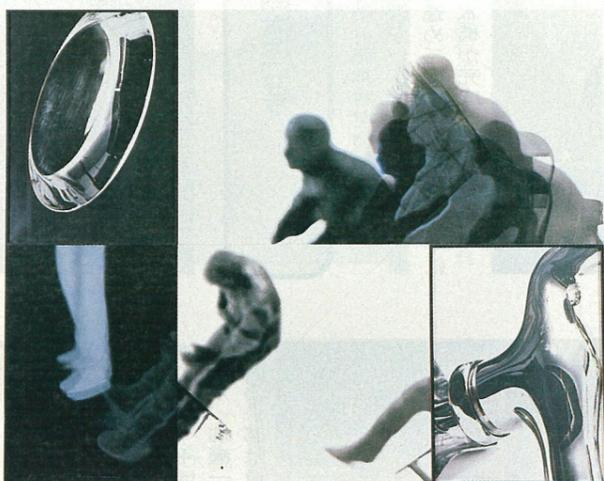
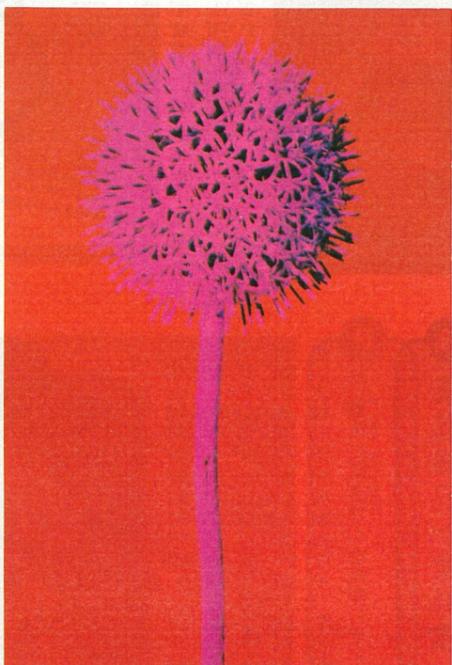
大賞 エステバン・チャヴェス(アメリカ)

INTELLECTUAL A.I.D.S. STUDY QUILT (銅版 136.0×271.0cm)

大賞受賞作品について エステバン・チャヴェス

アメリカでは誰かがエイズで亡くなると、その人の死を悼んでキルトを作ります。私は今回出品したキルトを、この世界全体のために作りました。

今、世界は、人類の生命がエイズによって危機にさらされているのと同様、環境破壊という、ある種のエイズともいえるべき病を背負っています。私たちは、個人の生活を襲うエイズという破壊も、またこの母なる地球を襲っている環境破壊も、このまま見過ごしてはならないのです。



優秀賞 濱田弘明(日本)

Untitled '92-12 (シルクスクリーン・写真 180.0×225.0cm)

優秀賞 トーキル・グドナソン(デンマーク)

UNTITLED (写真 187.5×127.0cm)

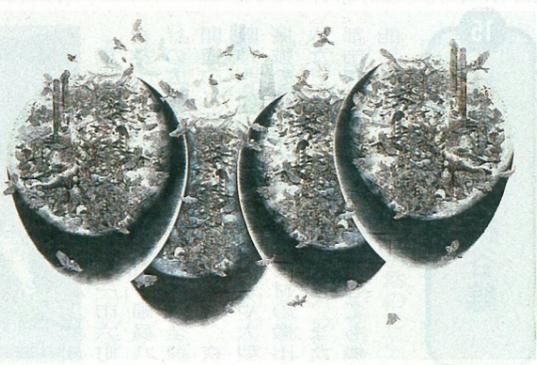
直秀さん(海南市)のシルクスクリーン「ドローイング・フォトグラフィ 9209」が入選しました。

和歌山市の県立近代美術館(☎0734-3611331)では、三月六日(二十八日)まで、これらの入選作品をすべて集めた展覧会(無料)を開催します。国際色にあふれた展覧会をご覧になってはいかがでしょうか。



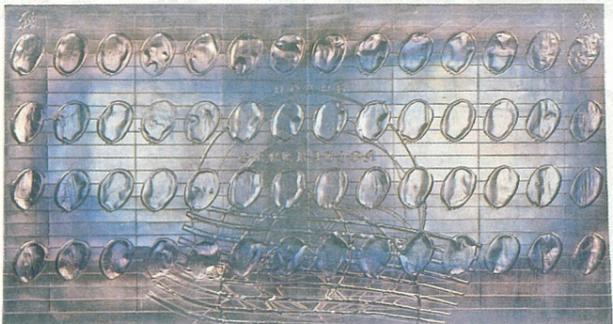
買上賞 申璋湜(韓国)

ARIRANG-Happy Day (木版 76.0×168.5cm)



買上賞 小林敬生(日本)

蘇生の刻 群舞 (木口木版 167.0×260.0cm)



買上賞 山下哲郎(日本)

陶板の為の wood cut H4-123 (鉛板にエンボス 91.0×170.5cm)



買上賞 飯塚二郎(日本)

地下からの視線920524 (モノタイプ 222.5×170.5cm)

買上賞 中路規夫(日本)

6P# MY ROMANCE-A,B,C, (シルクスクリーン 3枚組 180.0×396.0cm)

木炭の未来と環境を考える 全国木炭サミット開催

かつて、風土に根ざした主要産物として山村を支え、そして人々の生活に欠かせないエネルギー源として利用されてきた「木炭」。戦後のエネルギー革命で、その利用が遠のくばかりか、伝統文化の継承さえも危ぶまれていましたが、近年のグルメブームで「木炭」の良さが見直されるとともに、土壌の活性剤として、また水質の浄化といった環境保全に役立つなど多用途に利用できると再び注目されつつあります。

木炭産業の新たな展開が期待される一方で課題となっているのが、生産者の高齢化と後継者難や原木の確保が不安定なこと。備長炭の生産量が全国の約三分の一を占め、日本一の本県でも早急な対策が必要となっています。

こうした課題はもちろん、木炭の特性を生かした環境保全面での活用法など木炭の将来像を考えようと、二月五日、六日の二日間、日高郡南部川村で、全国の木炭生産関係者や研究者など多方面の参加を得て、「木炭」をテーマにした全国レベルの集会としては初めてとなる「木炭の未来と環境フォーラム(全国木炭サミット)」が開催されました。



「木炭」は環境に優しく、暮らしに役立つ

サミットでは、外国での生活経験が豊富なタレントのマリ・クリスティーヌさんが「くらしと環境」と題して、自分の体験

談をまじえながら記念講演。その後開かれた「木炭の未来と環境保全」をテーマにしたシンポジウムでは、福島康記・三重大学教授、吉良竜夫・滋賀県琵琶湖研究所長、杉浦銀治・炭やきの会副会長、宮本敬子・奈良市民生活協同組合理事、勝股文夫・南部川村備長炭生産者組合長の五人のパネリストが「木炭産業が直面している課題」や「木炭の多用途利用」「木炭による環境保全対策」などについて活発に議論しました。

吉良さんは「木炭は、自然を持続的に利用できる、世界でも類のない理想的なエネルギーといえる」。また、福島教授は「木炭は極めてクリーンなエネルギーで、地域資源の有効利用を図るうえでも注目されている。森

林の環境維持機能が重視されている今、木炭生産のための森林の造成が求められている」と、木炭が環境問題に果たす役割を話しました。

杉浦さんは「日本ほど木炭生産の技術が進んだ国はない。特に備長炭は世界に誇れるものだ。山村の血と汗と涙の伝承である炭焼きの後継者が育つのを期待しています」と次代を担う人づくりを訴えました。

家庭で木炭を工夫して使っている宮本さんは「お茶パックの中に備長炭を詰め、水道の蛇口に直結したり、やかんに入れ一日置いた水でご飯を炊いたりしています。また、数回使ったものを集めて大きな布袋に詰め、浴槽に入れると水あかがつきにくいです」と水の浄化への利用などについて意見を述べました。勝



サミット宣言を採択

二日目・二月六日に全国の主要な木炭生産地の十二市町村長など代表者が集まり、「木炭の未来と山村の活性化について」をテーマに開かれた全国木炭交流会では、各代表者がそれぞれの地域での木炭産業の現状と取り組みについて報告し、「木炭の科学的解明と多用途利用を図るとともに、山村の活性化の柱として地域に適した方法で利用価値を高め、その普及を図ろう」とサミット宣言を採択して、二日間に渡ったサミットを閉幕しました。

股さんは「炭焼きは、昔から自然とともに生きてきた仕事です。炭焼きをしていると煙の匂いがかぎ、山鳥が集まってくる。暖かい窯の近くにはミミズがいることを知っているからです。その時人間だけではなく鳥や動物たちと共存共栄しているんだと実感します」と炭のすばらしさ、自然の大切さを知ってほしいと強調しました。

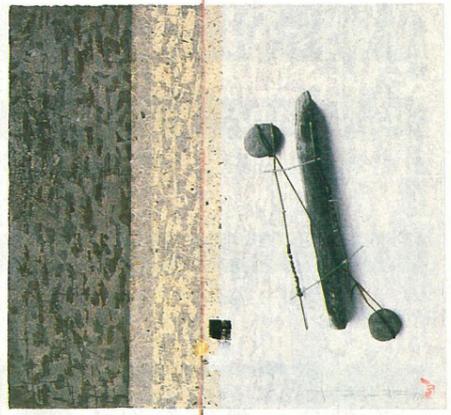
後継者を育てる
紀州備長炭指導製炭士を認定

県の民俗無形文化財にも指定されている紀州備長炭。県では、紀州備長炭の製炭技術を後世に伝えていくため、平成四年度～八年度の五年間に年間三名ずつ、県内の経験豊富な紀州備長炭製炭者を「紀州備長炭指導製炭士」として認定し、各地で開催される製炭技術の研修会や現場指導などの講師として、後継者の育成に携わっていただくことにしました。

初年度となる今回の認定者は、玉井又次さん(六六歳・西牟婁郡日置川町)、潮崎衛さん(六七歳・東牟婁郡那智勝浦町)、勝股文夫さん(六一歳・日高郡南部川村)で、みなさん製炭の経験年数が四十年を越える大ベテラン。

製炭業に従事して四十七年で、すでに十二人の弟子を育てたという玉井さんは「うばめがしの

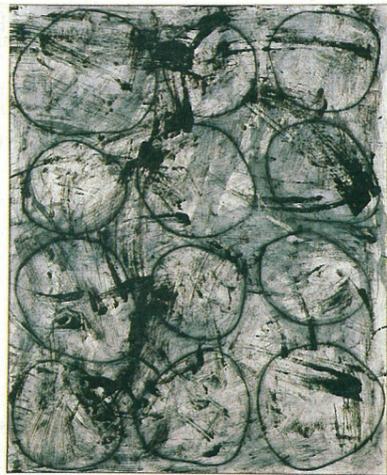
木は五十一～六十年でだめになる。昔から、大体二十五年で切り、新芽を出させてやるように努めてきた。そうすることで山を大切にし、動物たちを守ってきた。だから炭焼きは山を活性化してきたと言えらると思います。これからも緑を、山を守っていきたい。そして、もっと良質な、本当の和歌山県の炭を焼き、その技術を次の世代に伝えていきたい」と語ってくれました。



買上賞 タヴォン・コウドンヴィット(タイ)
SYMBOLS IN RITUAL 1992/3
(シルクスクリーン・木版 74.0×80.0cm)



買上賞 本田昌史(日本)
fetish-OBH
(シルクスクリーン 486.0×183.5cm)



買上賞 藤原和子(日本)
わのかたち-B9
(モノタイプ 162.0×130.5cm)



買上賞 マクシミアン・スノフ
(ポーランド)
VIEW No.6 (リノカット 61.5×47.5cm)



買上賞 ポール エル・スチュワー
(アメリカ)
Village II (銅版 74.5×99.0cm)

〒640 和歌山市小松原通1-1 ☎(0734)32-4111

おしらせ



募集

新築県営住宅入居者

佐野団地(新宮市蜂伏) 3DK 24戸
 用紙配布 3月4日~4月2日
 県庁正面玄関案内所、県庁住宅課、各土木事務所(和歌山土木を除く)、新宮市役所、東牟婁郡内町村役場(古座町、古座川町を除く)
 申込 4月5日・6日(10時~16時) 東牟婁総合庁舎
 鮎川第2団地2号棟(大塔村鮎川)
 3DK 3LDK 16戸
 用紙配布 3月8日~4月6日
 県庁正面玄関案内所、県庁住宅課、各土木事務所(和歌山土木を除く)、田辺市役所、西牟婁郡内町村役場(串本町、すさみ町を除く)
 申込 4月7日・8日(10時~16時) 大塔村文化会館
 くわしくは、佐野団地は新宮土木事務所 ☎(0735)2218551、鮎川第2団地は田辺土木事務所 ☎(0739)2617922へ

ファミリーサイクリング

参加者

早春の紀の川を望みながらサイクリング(10kmコース)を楽しみませんか。その他、ベタンク、グラウンドゴルフなどのニュースポーツで自然と親しみ、さわやかな一日をお過ごしください。
 日時 3月21日(日)午前9時~受付開始(小雨決行)
 場所 県立紀北青年の家(かつらぎ町中飯降1317-3 ☎(0736)2215530)
 対象 年齢は問いません。ご家族での参加を歓迎します。
 定員 約200人
 参加費 無料(参加記念品贈呈)

申込 3月12日(金)までに県庁青少年婦人課内和歌山県バイコロシー運動推進協議会へ
 ※昼食、自転車は各自でご用意ください。
技術講習会
 就業を希望する婦人等を対象に、実日数21日間、1日5時間(午前9時30分~午後3時30分)の各種技術講習会を開催します。
 受講料 無料(ただし、テキストなど教材費は自己負担)
 くわしくは各申込先へ

開催地	科目	定員	期間・曜日	受付期間	申込先
和歌山市	経理事務(3級)	30	4/9~6/9 月・水・金 (5月は水・金)	3/17~3/19	婦人等就業援助センター ☎0734-33-1181
岩出町	ワープロ(4級)	20	5/10~6/7 月・火・水・木・金	4/12~4/16	岩出町役場産業振興課
御坊市	パソコン	20	5/10~6/14 月・火・木・金	4/14~4/16	御坊市役所経済課
新宮市	経理事務とワープロ	20	5/6~7/15 火・木	4/12~4/14	新宮市役所経済課

県身体障害者体育大会参加者

日時・場所 (陸上・アーチェリーの部) 5月23日 紀三井寺運動公園陸上競技場 (卓球・水泳の部) 5月30日 県身体障害者福祉センター
 申込 3月31日までに各福祉事務所へ
 種目、参加資格などくわしくは申込先または県庁障害福祉課へ

シートベルト着用 推進キャンペーンクイズ

全国の交通事故死亡者の中で、自動車乗車中にシートベルトを着用していなかった死亡者が増加しています。
 シートベルト着用の大切さを知っていただくため、「シートベルト着用推進キャンペーンクイズ」を実施します。
【問題】
 前期スポーツ教室受講生

受講期間 4月~9月
 会場 県立体育館および県武道館(剣道、柔道のみ)
 参加料 小中高生11,000円、成人・婦人13,000円
 別に傷害保険料として400円が必要で、
 申込 往復ハガキに住所、氏名、年齢(学校名、学年)、電話番号、希望教室(曜日、午前・午後の別)、※は初級・中級の別、を記入し、3月1日~22日まで

1、時速100kmで固定壁に衝突したときの衝撃は、高さ何mからの落下に等しいでしょうか。
 ① 20m ② 30m ③ 40m
 2、平成4年11月末現在における自動車乗車中シートベルト非着用の交通事故死者総数のうち16~24歳の若者は約何割を占めているでしょうか。
 ① 2割 ② 4割 ③ 6割
 賞品 (Aコース)電子ブックプレーヤー20名 (Bコース)

マルチディスクプレーヤー20名 (Cコース) パーソナルカラーテレビ30名
 応募方法 ハガキに希望の商品、コース名、クイズの答、住所、氏名、年齢、性別、職業、電話番号を記入し、4月15日(消印有効)までに〒106東京都港区西麻布3-24-20 財団法人交通安全教育普及協会「シートベルトクイズ」F係へ
 くわしくは県庁交通政策課へ

0円が必要で、
 申込 往復ハガキに住所、氏名、年齢(学校名、学年)、電話番号、希望教室(曜日、午前・午後の別)、※は初級・中級の別、を記入し、3月1日~22日まで

種目	曜日	実施時間
健康体操	火	10:00~11:30
リズムダンス	木	10:00~11:30
卓球※	月	10:00~12:00
卓球※	月	14:00~16:00
バドミントン※	月	10:00~12:00
バドミントン※	月	14:00~16:00
バレーボール※	火	10:00~12:00
バレーボール※	火	14:00~16:00
ソフトテニス※	木	10:00~12:00
ソフトテニス※	木	14:00~16:00
ソフトテニス※	金	10:00~12:00
ソフトテニス※	金	14:00~16:00
バドミントン※	月	18:00~20:00
バレーボール※	火	18:00~20:00
卓球 A※	木	18:00~20:00
卓球 B※	月	14:00~16:00
健康ニュースポーツ	金	18:00~20:00
体操	月	16:30~17:30
バドミントン	月	16:30~17:30
バスケットボール	金	16:30~17:45
中高学年柔道※	月・木	16:00~19:30
低学年剣道※	月・木	16:00~19:00
高学年剣道※	月・木	16:00~19:00
フェンシング	月・木	16:00~18:30
体操競技	火・木・金	16:00~20:00
レスリング	火・金	16:00~18:30
なぎなた	火・金	16:00~18:00
バドミントン	月	18:00~20:00
卓球	木	18:00~20:00

(聴覚障害者を対象・成人教室と同時開催)



いばらな

戦後、旧ソ連またはモンゴルの地域で強制抑留された方、またはその遺族の方に内閣総理大臣の書状、銀杯が贈呈されます。さらに年金恩給や共済年金などを受給されていない方には慰労金(10万円)が支給されます。
 戦後、旧ソ連またはモンゴルの地域で強制抑留された方、またはその遺族の方に内閣総理大臣の書状、銀杯が贈呈されます。さらに年金恩給や共済年金などを受給されていない方には慰労金(10万円)が支給されます。

す。請求期限は3月31日までです。
 くわしくは県庁厚生援護課、各市町村役場、平和祈念事業特別基金 ☎(03)394514703へ
土地の無料相談会
 土地の評価に関する無料相談会を開催します。
 日時 4月10日午前10時~午後4時

確定申告はお済みですか

前納すると割引されます。
 くわしくは県庁国民年金課へ
 所得税、個人事業税、個人県・市町村民税の申告期限は3月15日(月)までです。
 くわしくは税務署、県(県税)事務所、市町村役場税務課へ
 ……
 個人事業者の消費税の申告期限は3月31日(水)までです。
 くわしくは税務署へ

自動車の登録手続はお早めに

自動車税は、4月1日現在の自動車の持ち主にかかる税金です。3月までに、転売や下取りに出された場合でも陸運支局で手続をしないと、いつまでも税金がかかります。
 また、3月は自動車の検査や登録関係の申請件数が最も多い月です。特に月末になると窓口が非常に混雑し、申請者の皆さんにご迷惑をおかけすることになります。申請や手続は、できるだけお早目に和歌山市湊106-4 和歌山陸運支局 ☎(0734)2212154へ



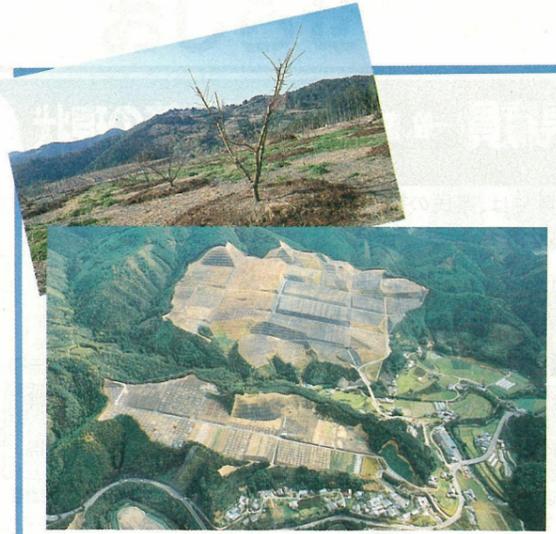
白浜有料道路を無料開放

(0734)2516885へ
 県営白浜有料道路は、4月1日から無料開放となります。長い間、ご利用いただきありがとうございます。なお回数券の払戻しについては、次のとおり行います。
 (3月31日まで) 白浜有料道路管理事務所 ☎(0739)2213825 (4月1日~5月31日まで) 西牟婁県事務所総務課 ☎(0739)2211200
 土・日・祝日を除く、午前9時~午後5時まで
 ※払戻しの際は、印鑑をご持参ください。
 くわしくは県企業局企業課へ

紀の川河口大橋有料道路(みなど大橋)の料金徴収時間は、4月1日から午前6時~午後9時までに変更します。
 くわしくは県道路公社 ☎(0734)3611036へ

融資など

林業改善資金
 資格 林業を営む個人または団体
 対象 設備の近代化や経営の合理化、労働災害の防止等に必要な機械などの購入資金
 限度額 600万円(ただし、団体は3,000万円)
 利子 無利子
 返済方法 5年以内の均等年賦支払
 申込 各森林組合
 くわしくは各県事務所林務課へ



梅の植栽完了 — 県営農地開発事業 —

農業経営の規模拡大、後継者育成などをはかるため、田辺市秋津川で県が進めている農地開発事業。このほど造成地への植栽がほぼ完了しました。植栽面積32ヘクタールで最終的には約5,000本の成木となります。受益戸数は45戸。1戸当たりの経営面積は93アールから182アールになる計画です。右会津川の12キロ上流で、標高200〜260に位置するこの地域は、気候、土壌が梅の栽培に適しており、人気の高い「南高梅」を導入することによって、広く地域の発展をめざしています。(田辺市)

本格的な運動公園です

串本町が建設を進めている同町くじ野川の総合運動公園。四月一日から一般利用ができる予定です。公園には、両翼九十五メートル、中堅百二十メートル、収容人員二千人の野球場や人工芝四面、クレイ四面のテニスコート、四百メートルトラックで六コースとれる多目的グラウンドなど本格的なスポーツ施設があります。また、野球場の外野の土手にはシバザクラが植えられ、春には花を咲かせます。地域住民の健康づくりに、体力増進に一役買いそうです。(串本町)



身体障害者福祉工場完成

和歌山市下和佐に県内で二番目の身体障害者福祉工場「和佐福祉工場」(社会福祉法人スマイヤが運営)が完成しました。「福祉工場」聞き慣れない名前だという方もいらしゃるかと思いますが、作業を行う能力はあるけれど、一般の企業に雇用されることが難しい、重度の身体障害者の方の働く場、社会参加の場となる施設が福祉工場です。「和佐福祉工場」では、シャンプレーやリンスの容器詰めや旅行セットの袋詰めなどを行うとのこと、身体障害者の方が働けるように様々な配慮がなされています。現在、各公共職業安定所を通じ従業員を募集中で、四月から操業を開始する予定です。(和歌山市)



わかやま 北南

NEWS

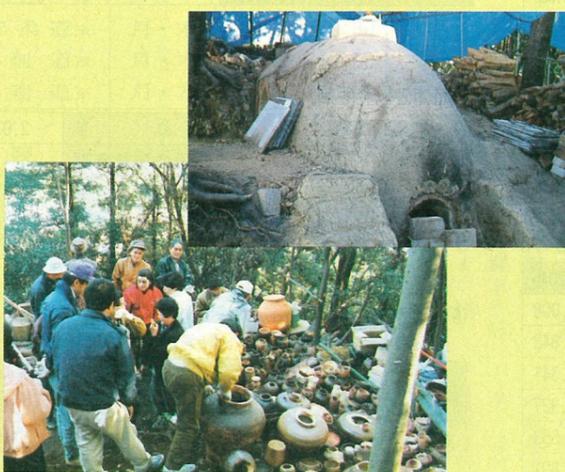
春の便りは くじらの町から



太地町梶取崎近くの町有地では今、春の訪れを告げる菜の花が満開です。冬でも暖かい南国太地をアピールしようと植えられたもので既に1月から咲き始めているとのこと。国道42号から町内に入る道路沿いにも黄色い花が咲き誇り、訪れる人の目を楽しませていますが、同町ではもっと町を菜の花でいっぱいにとさらに植えこみを続ける予定です。また梶取崎近くに、秋から冬にかけてひまわりを咲かそうという計画も進行中。5月頃までは咲いているという素朴で親しみやすい菜の花はくじらの町・太地の新しい顔になりそうです。(太地町)

古墳時代の窯を復元

みかんの里・有田郡吉備町の土生地区に古墳時代の窯が復元されました。これは、「町の歴史に触れて、文化財の大切さを認識し、同時に、町への愛着を深めてもらえれば」と、同町教育委員会が中心となって、町民から参加者を募り、昨年八月から作業を続けていたものです。土生地区は、良質の粘土が取れるほか、これまでに全部で十六の窯跡が発見されているなど、焼き物の歴史も古く、古墳時代には盛んに須恵器が焼かれていたとされています。すでに今年一月には、完成した窯で、参加者たちが同地区の粘土から作った作品を焼き上げたとのこと。町教育委員会では、これからも、公民館活動で陶芸教室を開くなど、復元した古代窯を中心に町民の中にひとつの輪を広げていきたいと話しています。(吉備町)



紀州みかんの先覚者 伊藤孫右衛門

江戸時代「沖の暗いのに、白帆が見える あれは紀州の国 みかん船」とうたわれた程古くから紀州といえ「みかん」。今もその生産額では日本一を誇っている。こうしたみかん王国・和歌山を語るうえで欠かせない人物がいる。伊藤孫右衛門。天文十二年(一五四三)現在の有田市系我に生まれる。当時の有田地方は特別の産物もなく、貧しい農民がほとんどだった。村の庄屋をしていた孫右衛門はある時公用で、古くからのみかん処(肥後の八代(今の熊本県八代市)へ赴くことになった。彼は「苗木を持ち帰り、増産して貧農を救おう」と思いめぐらすが、当時は、どこでも自分の国の産物を他国に取られまいと警戒していた時代。そこで、「増産が目的でなく、盆栽にしたいので」と頼んで苗木を二本譲り受けた。一本を藩に献上し、一本を自分の畑に植え大切に育てた結果、この木は願い通り白い花を咲かせた。さらに孫右衛門は接木にも取り組み見事に成功。気候風土が適していたのと、その後の紀州藩の奨励策もあってみかん栽培はこの地方に急速に広まっていった。毎秋、黄金の実を結んで甘ずっぱい香りを辺りに漂わせる有田の山々。紀州みかんの恩人ともいえる孫右衛門は寛永五年(一六二八)八十五歳でこの世を去った。



シリーズ 8

あ と が き

三月号。皆さんのところに届くのは当然三月ですが、取材に追われていたのは二月初めの雪の中。スリッパでガイドレールに車をぶつけ修理代に泣いているスタッフがいたり、大変思い出の多い県民の友となりました。でも、「もうすぐ春ですわね……」軽快なメロディーのり、また元氣一杯走り出しました。春三月です。卒業のシーズン、ちよっぴり寂しさの中にあふれる希望を胸に、今年も若くて輝かしい旅立ちがあります。